慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

· ·	
Title	アダム・スミスの価値論に就いて(一)
Sub Title	
Author	加田, 忠臣
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1919
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.13, No.6 (1919. 6) ,p.784(120)- 793(129)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19190601-0120

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

情と 經濟的 史観論との 關係に就て 論せんと欲 次に余が本節に於て暫々言及したる生物的感

証人

E. Bernstein: -

"Evolutionary Socialism." (trans

by Charles H. Karr of Com.)

by E. C. Harvey.) p. 18. Note.

(附肥、前號にで人種學的感情及び生物學的感情となしたる すべて人種的感情及び生物的感情の誤謬なり。)

(註一〇) Boudin:—"Socialism and War."河上博士抄課了

(註九) ditto. p. 18.

- (鐵1) Max Stirner:-"The Ego and his Own (trans. T. Byington.) p. 9.
- (起11) Adam Smith:—"The Wealth of Nations" (Ed. by
- (盐川) P. A. Kropotkin:--"Mutual Aid." popular edition.

(註四) P.163.(前掲 Spargo著書八二頁より引用) Dawin :- "The Descent of Man." 2nd edition.

誌一第九卷第四號所載一參照

(註五) Krcpotkin:— op. cit p.141.

Zweite Auflage. S, 13. - "Elemente der Völkerpsychologie."

田中萃一郎氏「クロボトキンの史觀」「三田學會雑

"Sccialism,

Utopian and Scientific."(Pub.

Š, 社會主義者の観たる世界大戦の真因」に依る。「社會 問題研究」第三册、第五册所載)

V 田 忠 臣

論に

ア

Þ

スミ

ス

0

價値

(米完)

= 一、スミス價値論の要領(本號所載) スミス假催論の本質

三、勞働價值既に於ける勞働の意義

「アダム・スミスは其時代に於ても組織的學理

にあり るべし。 先づスミスの所論を正確に記述し、然る後他の 所は複雑錯綜せるスミスの價値論の真意が何處 難解なる部分の一にして、其要領を捕促するだ 少くとも彼の價値論を通讀せる者の肯ずる所な は驚嘆に値す」とのダヴンポー 生を享けたりとするも同一の運命に逢着せしな の緻密なる建設者に非す。 に容易の業にあらず。 るべし。(註二) るに失敗せり。 究資料を参照してスミスの真意を明かにせ やを決定するにあり。されば、 彼は家を見て町を見ず水を見て森を見 されど彼が家と木とに精通せる スミスの價値論は國富論中最も 本篇に於て論せんとする 彼が他の時代に其の のスミス評は 以下予は

> 故に余は記述的部分は極めて簡単となすべし。 の「アダム・スミスの價値論に就いて」なる論文あり。 スの價值學既」あり。又本誌第七卷第一號に河上教授

すなり。 然るに價値の成立は勞働を以て基本的要素とな は、スミスに據れば、勞働、穀物又は貨幣なり。 全部を費せり。然るに、價値の成立と價値の秤 所得分配との關係、第四は分配論其ものなりと 成立、其二は價值及び價格の標準。其三は價格と 量の標準とは其内容を異にす。 とは別種の概念なり。 ふ命題を出發點として変換價値の標準論に同章 より成立すと見ることを得べし。第一は價値の 一卷第五章に於て價値は勞働によりて發生すて 價値及び價格に關するスミスの説は之を四部 僧値の成立要素と之を秤量すべき標準尺度 其分配論と關係を有するは勞働に依り さればスミスは國富論第 價値秤量の標準

- Davenport: Value and Distribution, p. 29
- アダム・スミスの價值論に就きては本誌第五帶第三 號アダムのスミス記念號に氣質教授の「アダム・スミ

(七八五) アグム・スミスの假植論に就い

には、 2 とを論ずる條に於ては分配の綜合的研究を試み 配せらるるやを論述する所にあり。 代並に勞銀 對して行はるるを見たり 裂の諸要素の分折的研究に對しては、 並に其分配に就きては、國富論第一卷第五章の 研究を必要とす。 て發生したる價値が如 四項に就きて細論するの必要あるべし。されぞ、 れざ、 スは價値の分配が資本家、 に其相互關係を研究せり。 の全體に洗 分折的研究即個々の分配要素に就きての 價値の分配せらるる諸要素 第六章並に第七章の全部を割さ、 徹底的に分配の綜合的研究を行 一章に至る四章に勞銀、利潤、地代 の分折的研究をなすことなし。 りて批評を加ふるには、 放にスミス自身も價値の成立 何に社會の諸階級間に分 しを以て、 從つて、 地主並に勞働者に 分配と價格 而して、ス 第一卷第 利潤、 スミス質 以上の 價值分 ふ為め

以下價値成立の原理に就きてのみ叙述せん。勞働價値説なることを論證するに存するを以て本論の目的とする所は單にスミスの價值學說が

Value, 中に論せる所は物の相對的價值、 ちて使用及び交換の兩種となせるはアリストラ 他は交換價值 Value in exchange or exchangeable て彼自らも其事を明言せり。(註二) 即ち彼の研究は交換を前提させる價値現象にし のみにして、使用價値は其名目を留むるのみ。 換能力を表はせり。 所有が其所有者に與ふる物の購買力即ち物の交 意義を有せり。一は物の利用を意味し、二は物の ースに始まる傳統的分類なるも、 SI* と稱す。(註一)斯の如くスミスが價値を分 ム・スミスに據れば價値なる語は二つの 一は使用價値 Value in use 即ち交換價値 彼が國富論

(1) Smith: Wealth of Nations. (Caunan's Edition) Vol.

L. p. 30. 以下引用は特に附言せざる限りキヤナン校

(11) Smith: op. cit Vol. I. p. 30.

之を所有し自ら消費せず、他の物と交換せんと 勞働の分量に比例す。(註)「故に、 変換過程を經て獲得することを要す。故に、 自己の勢働のみを以て、其欲求の全部を充足す 用品、並に享樂品を享受し得る程度如何にあり。 物の交換價値の風の秤量なり。」(註二) 得る勞働の分量に等し。故に勞働は、すべての 而して分業の一般に行はるるとさは、各個人は する人に對しては其物によりて購買又は支配し ること能はずして、 の程度は各個人の支配し、叉は、 ミスに據れば、人の貧富は人生の必要品、有 其欲求の對象の大部分をは 物の價値は 購買し得る 貧

興實の價格は、之を獲得するに要する勞力と勞務 Toil and trouble となり。而して物を獲得し、務 Toil and trouble となり。而して物を獲得し、物 Toil and trouble となり。而して物を獲得し、他物と交換せんとする人に對する物の真實の價値は、物に依つて所有者が省き得る勞力なり。貨幣又は貨物は一定量の勞働の價値を含有し、等量型によりて購はれたるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるの價値を有すと想定せらるるものと交換せらるので、資料はれてる原始的購買貨幣 Original Purchase-Money なり。(註三)

- (1) Smith: op cit. Vol. I. p. 3:
- (11) Smith: loc. cit.
- (jij) Smith: loc-cit-

て、其二は交換行程なり。生産行程より價値を二つの方面より觀察せり。其一は生産行程にし即ちスミスは價値の起因を勞働に求め、之を

第十三卷 (七八七) 雑 錄 アダム・スセスの質値論に就い

んとする人に對する費用即ち物の

第六號 一二二

見るときは、價値は其物の生産に費されたる勞動の分量と交換行程に於て支配せらる。而して生産行程に於て費されたる勞働の分量と交換行程に於ける價値は其物の分量と含は、價値は其物の生産に費されたる勞動の分量と

E

産要素の有償的結合より見たるものなり。 生産の有償的要素にして、土地又は資本の私有 價值論中特殊經濟狀態より見たる價值現象を論 制度なるものなし。 働者と資本家との別生じたる時代にして、此時 價値學説の具意なりとする所なるもスミスは 原始的經濟組織なるが、 以上の叙述は後段論證する如く余が以てス 三つの階段に之を分てり。 は 有償的生産要素として勞働及び資本の二 第二は資本の私有始まり勞 此時代には勞働のみ 其經濟狀態は生 第一 3

> 値現象は主としてこの時代を中心とせり。 歩したる時代にして、 地代なる報酬を受くるなり 以外に土地私有制度を含める經濟組織の時代に せるが故に、彼の價値、 の例外を除き、 種を敷へたり。 して勞働、 資本並に土地は各々勞銀、 既にこの時代に 第三は勞働、 スミスの時代には、 價格學説の對象たる 資本の有償的要素 この時代は最も進 到達せるものと 利潤並に 多少 價

して、甲種の勞働が乙種の勞働よりも困難なると情りて言へば、「資本の集積と土地私有が未だ起らざる以前の原始草味の社會」(註二にありては、各種貨物の変換比率を定むる唯一の條件は基物の獲得に必要なる勞働の分量間に存する比付があり。例へば狩獵民族の間に於て河狸一匹を付は、河狸一匹の價値は鹿二匹に當る。(註二面付法、河狸一匹の價値は鹿二匹に當る。(註二面付法、河狸一匹の價值は鹿二匹に當る。(註二面付法、河狸一匹の價值は鹿二匹に當る。(註二面付法)

ときは前者の一定量は後者の同一量と交換せらることなし。例へば、甲種勞働を以て二時間には産せられたるものと交換せらる。熟練、知能生産せられたるものと交換せらる。熟練、知能と産性られたるものと交換せらる。熟練、知能しが如し。

斯くの如き狀態にありては、勞働の全生産物は勞働者に歸屬す。而して、物を生産し、又は、以外側の分量は其の物が購買し、支配し、又は失れと交換せらるべき勞働のし、支配し、又は、勞働の分量は其の物が購買

- (1) Smith: op. cit., vol 1. p. 49.
- (11) Smith: loc. cit.
- (Jij) Smith: op. cit., vol, 1., pp. 49-50.

るゝときは其所有者は之を放下して、利潤を獲二、資本の私有制度の時代。資本の私有せら

得せん 料の資金と勞銀とに對する利潤を支排ふ。(註四) 物の價格の一部分を構成するものなりとす。 期かる利潤なさときは、 働者が原料に附加せる價値は二分せらる。 する以上の價値を獲得せざるべからず。 は勞銀を支排ひ、他の一は資本家の前貸せる材 を放下せし さす。 0) むること難し。 故に生産物の原料 資本家をして、 故に資本の利潤も 並に勞銀を補償 其資金 即ら勞 其一 貨

資本利潤によりで生ずるものなり。(註五) 質本利潤によりで生ずるものなり。(註五) がくの如き狀態に於ては勞働の分量は之れに依 に必ずしも勞働者に歸屬せず。勞働者は彼を雇 定する唯一の原因にあらず。この價値の増加は 定する唯一の原因にあらず。その價値の増加は でする唯一の原因にあらず。等働者は彼を雇 ので支配し又は之と交換し得る勞働の分量を決 でする唯一の原因にあらず。との價値の増加は でする唯一の原因にあらず。との價値の増加は でする唯一の原因にあらず。との價値の増加は でする唯一の原因にあらず。との價値の増加は でする唯一の原因にあらず。との價値の増加は でする唯一の原因にあらず。との價値の増加は でする唯一の原因にあらず。との價値の増加は でする唯一の原因にあらず。との價値の増加は

- 图) Smith: op. cit., p 50.
- (五) Smith: Ibid., p. 51.

第十三卷

三、完全なる私有財産制度の時代。資本土地 者は土地の使用に對して一定の地代を要求す。 かいるときは、勞働者は土地の使用に對する地 がいるときは、勞働者は土地の使用に對する地 で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の に、其生産物の一部を提供する要あるべ で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の に、土地所有 で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の で、この部分は地代を構成し、大部分の貨物の

進步せる經濟組織の下に於ては、總ての貨物の價格は勞銀、利潤並に地代を以て構成せらる。
の價格は勞銀、利潤並に地代を以て構成せらる。
は、稀れにして、勞銀のみの價格は極めて少し。
は、稀れにして、勞銀のみの價格は極めて少し。
でし又は購買し得る勞働の具では立するを普通と
す。而してこの價格の三要素も亦、其各個が支配し又は購買し得る勞働の分量によりて、測定
で値を秤量するのみならず、地代及び利潤に與
へらる、價格の部分の價值をも測定するなり。

(4() Smith: op. cit., vol, I., p. 41.

(元)

場を言ふ。 場を言ふ。 以上論せる所は價格の靜態的研究にして、共 が提として、交換經濟並に經濟單位間に於ける で会なる自由競爭を假定す。交換經濟は充分な で分業の發達を前提とし、完全なる自由競爭の は一次 の表表の の一記の の一。 の一記の の一記の の一記の の一記の の一記の の一記の の一記の の一記の の一記の の一。

價格の要素たる勞銀並に利潤は各社會に於て で依りて、自然に決定せらる。地代も亦其地位、 も称せられ、社會の貧富及び進步的、停滯的又 も称せられ、社會の貧富及び進步的、停滯的又 は衰退的狀態に依り、又は各職業の特殊的性質 に依りて、自然に決定せらる。地代も亦其地位、 のを有せり。自然率は平均率又は通常率と に依りて、自然に決定せらる。地代も亦其地位、 のを有せり。自然率は平均率又は通常率と に依りて、自然に決定せらる。

物の價格が其物を市場に供給するまでに要す

ral price して過不足なきときは共價格を自然價格 潤を包含することならが如きも、 る地代、勞銀並に利潤を其自然率に依りて補償 き且つ完全なる自由競争即ち轉職の完全なる自 最低價格にはあらざるも、 ればなり。 放下資本に對する利潤をも獲得せざるべからざ は生産者の收入又は生活資金にして、 は決して賣手の利益にあらず。 なりと言ひ得べ を前提とするとさは、この價格は最低のもの と称す。(註一)自然價格は物の眞の價格 普通の用語にて價格と称するは 故に利潤を包含する價格は、 相當の期間を取ると 何となれ 利潤なら賣買 彼は何は 賣手の 线其内利 ば利潤

(1) Smith: op. cit., vol. 1. p. 57.

下たることのあると同時に、之ど一致すること云ふ。市價は自然價格以上たることあり、又以云外。市價は自然價格以上たることあり、又以

もあり。貨物の市價は實際市場に齎さる、貨物の分量と貨物の自然價格即ち勞銀、利潤、地代の分量と貨物の自然價格即ち勞銀、利潤、地代の分量と貨物の自然價格即ち勞銀、利潤、地代更清を行為。(註三) 斯くの 如き 需要者を有效的需要者を行政的需要者を有效的需要者を表する。質問の方面と貨物の自然價格即的分銀、利潤、地代更大量的。貨物の市價は實際市場に齎さる、貨物

(11) Smith: op. cit, vol. 1, p. 58.

市場に於ける貨物供給量が有效的需要を超過するときは自然價格を支排ふ購買者に其全供給量を販賣すること能はず。故に其一部は自然價格給量に比例して自然價格を支排ふ購買者に其全供給で全量に至るなり。

か又は之れに近附くに至る。而して各貨物の分るとさは、市價は自然的に自然價格に一致する貨物の供給量が有效的需要量と確的に一致す

第六號 一二七

利益なり。

和益なり。

和益なり。

和益なり。

和益なり。

和益なり。

和益なり。

和益なり。

を受くる生産要素の所有者は之れを他の需要多 なれば完全なる自由競爭の許さる ことあるも永く其以下に留まること難し。 又は夫れ以下に下る。然れざも如何なる事情 **或種の事情によりて價格は自然價格以上に騰り** して、すべての價格は此中心價格に吸引せらる。 にあるも價格は常に自然價格に吸引せらる かくて、 向を有せり。 が自然價格以下に止まることによりて、 自然價格は中心價格 市價は自然價格以上に長く留る ばなり。 されば需要供給の Central price 2 くときは、 影響 何と 價 > 0

本は社會の狀態によりて變動するものなり。銀、利潤及び地代の自然率に從て變動し、自然。而して自然價格其ものも其構成部分たる勞關係は市價をして自然價格と一致せしむるに至

(-

第一の場合は需要の増加の為に、市價の騰貴永〜自然價格以上に留ることあり。此種の價格於上に留ることあり。此種の價格於一致する傾向あるに拘断、市價は自然價格と一致する傾向あるに拘

すること難し。

です。かゝる價格も一種の獨占價格なるも永續したるときにして、生産者は可成かゝる事情をしたるときにして、生産者は可成かゝる事情を

せる者は其の為に獨占價格を保持することを得密よりも永續す。例へば特殊の製造方法を發明第二は製造業に於ける秘密にして商収引の秘

特殊資本利潤として考へらる。報償にして其全資本に對して一定の割合を保ちるなり。かくる獨占價格は其特殊勞働に對する

自然の生産物には土壌並に地位の特殊的性質の上騰は自然的原因によりて惹起せらるゝもで、水漬は自然的原因によりて惹起せらるゝもで、水漬は自然的原因によりて惹起せらるゝものにして、水漬的性質を有するもののにして、水漬的性質を有せり。

に販賣せり。 場に對する供給を減じ、貨物を其自然價格以上上の秘密と同一の結果を生ず。獨占者は常に市上の秘密と同一の結果を生ず。獨占者は常に市

第十三卷(七九三) 雑 錄 財政經濟時論り。獨占價格はすべての場合購買者より掠奪し言ひ得ざるも、長期を取るとさは最低の價格な意と得該の場合とは最低の價格な

する部分の大要なり。 (未完) ははスミスの價値學説中價値、價格の成立に關供し得、其業を繼續し得る最低の價格なり。以最高の價格なり。然るに自然價格は販賣者の提得る最高の價格にして、購買者が支出し得べき

財政經濟評論

速次郎

何なる程度の改正を此兩國稅に加へんとしてる 得稅であると云はれてゐる。吾人は當局者が如 若に改正を要すると認めてゐるは營業稅並に所 正する目的を以て、稅制整理の調査を開始した 正する目的を以て、稅制整理の調査を開始した 正する目的を以て、稅制整理の調査を開始した 正する目的を以て、稅制整理の調査を開始した

第六號一二九